

Citrix Xen App (旧製品名 Citrix Presentation Server) のクライアントをパソコンから 「MiNT-ACC シリーズ」へ変更 運用管理の効率化とコスト削減に貢献

塩尻市役所

■概要

1959年に塩尻町・片丘村・広丘村・宗賀村・筑摩地村の合併によって市政施行。豊かな自然環境を活かして観光業や農業が盛んに行われているほか、精密機器をはじめとする工業分野の活動も活発である。

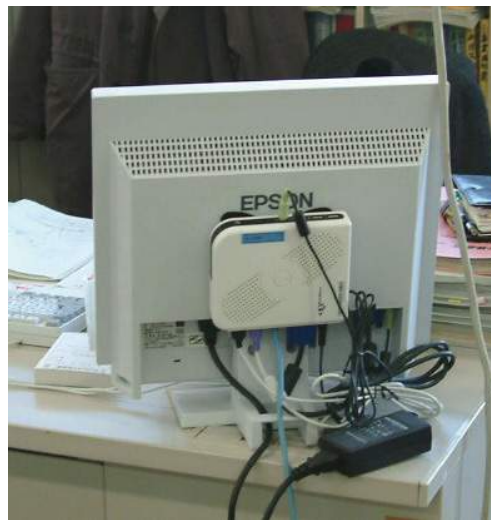


塩尻市役所
協働企画部 情報推進課
情報企画係長
小澤 光興氏



市役所外観

塩尻市
面積：290.18km²
人口：68,318人（2010年1月1日現在）
世帯数：25,597世帯（2010年1月1日現在）
URL：<http://www.city.shiojiri.nagano.jp/>



長野県・塩尻市では、市役所内の情報セキュリティを確保するために、「Citrix Xen App」によるサーバーベース・コンピューティング（SBC）環境を構築・運用している。これまでは通常のパソコンをクライアントとして利用してきたが、シンククライアント端末の有効性に改めて着目。運用管理の効率化やコスト削減を図るべく、ミントウェブの「MiNT-ACC cute-40U」を新たに導入した。最終的には約 450 台の SBC 端末全てを、シンククライアントに置き換えていきたいと考えている。

SBC 環境で利用する端末の シンククライアント化に着手

日本三大遺跡の一つである平出遺跡や、国内トップクラスの品質を誇るぶどう、蕎麦などで有名な長野県・塩尻市。同市では地域住民へのサービス向上に力を注いでおり、様々な施策を展開している。その一環として、2010年夏には、新たな市民交流センター「えんぱーく」をオープンする予定だ。また同市は、長野県下有数の IT 先進都市でもある。えんぱーく内に開設される新図書館でも、Ruby ベースの図書館情報システムを全国で初めて採用。システムコストの大幅削減に成功している。

近年の自治体システムには、情報セキュリティへの配慮も強く求められるが、この点についても抜かりはない。2004年

より Citrix 社の SBC ソフトウェア「Citrix Xen App」を導入し、ウイルス被害や情報漏えいなどへの対策を図ってきた。塩尻市役所 協働企画部 情報推進課 情報企画係長の小澤 光興氏は「最初の頃こそ SBC 環境への戸惑いもありましたが、現在ではすっかり業務に定着しています」と説明する。

さらに同市では、2009年より新たな取り組みに着手。これまでは通常のパソコンを SBC 端末として利用してきたが、これをシンククライアントへ置き換えるプロジェクトをスタートさせた。

実は、Citrix Xen App の導入に先だっで行われた実証実験の際にも、一部でシンククライアントを利用した経験はあった。しかし、その時には、画面表示関連の機能が不十分であるなどの理由から採用を見送っていた。

初期の頃こそ SBC 環境への戸惑いもありましたが、 現在ではすっかり業務に定着しています

「その点、最近のシンクライアントは機能や性能も向上し、以前の製品より大きく進化しています。そこで改めて、シンクライアントを評価してみようということになったのです」と小澤氏は続ける。同市では複数のメーカーから評価機を借り、業務に適用して動作や使い勝手などを厳しくチェック。その結果選ばれたのが、ミントウェーブの「MiNT-ACC Cute-40U」（以下、Cute-40U）であった。

設定の容易さや使い勝手を評価し 「MiNT-ACC Cute-40U」を採用

塩尻市役所 協働企画部 情報推進課 情報企画係の横山 朝征主事は、Cute-40U を選択した理由を次のように語る。



塩尻市役所
協働企画部 情報推進課
情報企画係 主事
横山 朝征氏

「最大の決め手は、Linux ベースの独自 OS である『Basilware』の完成度の高さ。シンクライアントは業務に利用するものですから、設定や起動時間の早さが何よりも重要です。その点、ミントウェーブの製品は、箱から出して5分もあればセットアップが済んでしまいます。この簡単さ、手軽さを高く評価しました」（横山氏）。

同市でも、古いパソコンに Linux と ICA クライアントをインストールして、SBC 端末として再利用していたが、同じ Linux ベースでも作業に掛かる工数や起動時間は格段に違ったという。塩尻市役

所 協働企画部 情報推進課の濱 泰之主事も「市役所内では約 450 台の SBC 端末が稼働していますので、設定の簡単さは業務効率向上に直結します。また、もう一つ評価したのが、本体のコンパクトさ。最初はあまりに小さいので、これで本当に動くのかと驚きました」とにこやかに語る。



塩尻市役所
協働企画部 情報推進課
情報企画係 主事
濱 泰之氏

パソコン端末の場合、ゴミやホコリによる障害に悩まされることも多かったが、ファンレス設計で開口部も少ない Cute-40U ならこうした心配も減る。また、Cute-40U は液晶ディスプレイの背面にも設置できるため、デスク廻りのスペースを有効に活用することもできる。

さらに、もう一つのポイントとなったのが、ミントウェーブが実績の豊富な国産メーカーであるという点だ。「海外メーカーの製品も評価しましたが、やはりサポート面で不安な部分が残ります。その点、ミントウェーブはシンクライアント分野の草分けとも言えるメーカーですし、我々も前から知っています。そういう面での安心感もかなり高かったですね」（小澤氏）。

コストと消費電力を大幅削減 ユーザーからも好評を獲得

Cute-40U によるシンクライアント環境は、2009年8月より本稼働を開始。その

第一弾として、まず 50 台がリプレイスされた。横山氏は今回のプロジェクトのメリットとして、コスト削減効果を挙げる。「OS やウイルス対策ソフトに掛かっていたコストがカットできますので、同じ費用でより多くの端末を導入できます。今回もシンクライアントでなければ、50 台を入れ替えることはできなかったでしょう」（横山氏）。

また、もう一つ見逃せないのが、消費電力の大幅な削減だ。同市の生活環境課には電力消費量を測る装置が導入されているが、クライアントを Cute-40U に置き換えたところ、実測値で以前の約 1/5 に下がったという。

パソコン端末では、自動的に起動するはずの ICA クライアントが起動しないなどのトラブルもあったが、Cute-40U ではこうした問題も解消。濱氏は「ユーザーサポートや運用管理にほとんど手間が掛からないので、我々 IT 部門も本来の業務に集中できます」と満足げに語る。まだパソコンを利用しているユーザーからも「早く Cute-40U に変えて欲しいという要望が多い」（横山氏）とのことだ。同市では、最終的にはすべてのクライアントを、シンクライアントに置き換えていく構えである。「職員が快適に働ける環境を整備すれば、自然と市民の方々へのサービス向上につながっていくはず。今後もコストを抑えつつ、最適な環境を構築していきたい」と抱負を語る小澤氏。ミントウェーブのシンクライアントが活用される場面も、ますます増えていくそう。

販売協力店

エプソンi ソリューションズ株式会社